

## Ⅱ. 事業の概要

### 1. 教学関係（昭和音楽大学・同短期大学部）

- 1) 海外研修
- 2) 招聘教授
- 3) 芸術特別研究

### 2. 演奏会関係

- 1) 演奏会
- 2) テアトロ・ジューリオ・シウワ・オーケストラ活動報告
- 3) 生涯学習講座

### 3. 研究所関係

- 1) オペラ研究所
- 2) バレエ研究所
- 3) 舞台芸術政策研究所
- 4) 歌曲研究所
- 5) アートマネジメント研究所
- 6) 音楽療法研究所
- 7) 音楽教育研究所
- 8) ピリオド音楽研究所

### 4. 附属教室関係

- 1) 附属音楽・バレエ教室
- 2) 附属ピアノアートアカデミー

# 海外研修

## 1. イタリア研修

### ◎平成29年度イタリア研修概要

(目的) 日本で学んだヨーロッパの文化について、現地の社会と芸術に直接触れることにより更に見識を深め、実技レッスンやアンサンブル等の授業を本学研修所で集中的に受講することにより、学生各自の感性・芸術性等を向上することを目的とする。

### 【平成29年度実績】

海外研修 I	平成29年度実績
長期A団 (ピアノ)	2月 8日～2月25日
長期B団 (声楽)	2月26日～3月15日
海外研修 II	
ヨーロッパ実技	8月31日～9月 9日
海外研修IV	
ヨーロッパ見学	開催せず (10名未満)

## 2 英語研修

(株)ブリティッシュ・ヒルズが運営する福島県の研修施設において、アートマネジメントコース及び舞台スタッフコース学生を対象とした「英語研修」を必修科目として実施。

平成29年度舞台スタッフコース・アートマネジメントコースは  
2月26日から3月11日にかけて実施。

## 3 アートマネジメント・舞台スタッフ研修

平成24年度に、それまでの「英語研修」を「英語研修」と「海外研修Ⅱ」の2つの授業に分割した。その内の「海外研修Ⅱ」をアートマネジメントコースおよび舞台スタッフコースの選択科目として実施している。

平成28年度からは、渡航先をイギリス・ロンドンとイタリア各所に変更し、平成29年度は3月9日から3月19日にかけて実施。

## 4 バレエロンドン研修

「海外研修Ⅱ」の選択科目として、ロンドンにて現地講師によるバレエレッスンを受講。  
平成30年2月23日から3月4日にかけて実施。

## 5 ミュージカル実技研修

ニューヨークの総合ダンススクール「ステップス」及び「BDC」でダンスのレッスンを受講。平成29年度は、平成30年3月2日から3月12日にかけて実施。

## 6 ニューヨーク見学研修

平成29年度は、平成30年3月2日から3月12日にかけて実施予定であったが、参加予定者数が10名に満たなかったため中止となった。

## イタリア研修所利用状況

期間	日数	利用目的	利用者(人)				
			本学学生	本学教職員	招聘講師等	地域住民等	その他
H29(2017) 9月1日～9月7日	7	実技研修 (ピアノ・声楽)	13	2	3	30	
H29(2017) 10月8日	1	ブレンタ台地サイクリング大会2017				5000	
H29(2017) 11月5日	1	スキャヴォンマラソン大会				1200	
H30(2018) 2月9日～2月20日	12	長期研修A団 (ピアノ)	23	4	9	15	
H30(2018) 2月27日～3月10日	12	長期研修B団 (声楽)	33	4	5	40	
H30(2018) 3月15日～3月16日	1	海外研修(イタリア・ロンドン) アートマ・舞台スタッフコース(選択)	21	5	0	0	
計			90	15	17	6285	
※ 本学研修における、「地域住民等」は研修中に開催する演奏会聴衆者を示す。			6407				

# 招 聘 教 授

## ○平成29年度 招聘教授実績

	招聘教授名	担当	招聘期間
1.	カルメーラ・サントーロ	声楽	4月3日～4月12日
2.	ジョン・オコーナー	ピアノ	7月4日～7月16日
3.	ジョナサン・オースティン・アイ アー	ミュージカル	9月8日～9月14日
4.	田中久子	コレペティ	9月13日～9月20日
5.	ドミニク・ジュヌボア	バレエ(クラシック)	12月18日～12月21日
6.	トム・ボスマ	バレエ(キャラクターダンス)	12月18日～12月21日

## 特別授業（公開講座等）

1.	イ・ゴニョン	作曲	6月9日
2.	吉原 すみれ	打楽器	7月2日
3.	モーリス・ブルグ	オーボエ	10月15日
4.	ブロニスワヴァ・カヴァラ	ピアノ	10月24日
5.	パリ管弦楽団金管五重奏団	金管五重奏	10月27日
6.	中村 功	打楽器	11月14日
7.	ペーター・シュミードル	クラリネット	11月29日
8.	トニー・ムーア	ドラム	1月19日

# 【平成29年度芸術特別研究 音楽の指定公演】

【分野区分】 A：クラシック音楽 B：オペラ・バレエ・ミュージカル・演劇 C：ジャズ・ポピュラー・その他 D：邦楽・日本古典芸能

回数	日程	曜日	開演時間	名称	会場	分野区分	チケット数予定	備考
1	4月14日	金	19:00	渋谷の夜の狂言会	渋谷セルリアンタワー能楽堂	D	※各自	学外公演
2	4月15日	土	14:00	アルテリッカブレ 日韓大学音楽交流コンサート	ユリホール	A	50	
3	4月16日	日	14:00	アルテリッカブレ 2017若きアーティストたちの饗宴 ジャズ・ポピュラーライブ	リリエ	C	30	
4	4月22日	土	14:00	アルテリッカ関連イベント 2017若きアーティストたちの饗宴	ユリホール	A	30	
5	4月23日	日	17:00	アルテリッカ Jazz Bar 本田バンド	21ホール	C	※各自★	学外公演
6	4月29日	土・祝	14:00	アルテリッカ 藤原歌劇団公演オペラ「セビリアの理髪師」	ジーリオ	B	50	
7	4月30日	日	14:00	アルテリッカ 藤原歌劇団公演オペラ「セビリアの理髪師」	ジーリオ	B	50	
8	4月30日	日	17:00	アルテリッカ Jazz Bar 佐山雅弘・守屋純子	21ホール	C	30	学外公演
9	5月2日	火	19:00	アルテリッカ アートマネジメントコース自主企画公演「メンデルスゾーン」	ユリホール	A	30	
10	5月3日	水・祝	13:00	アルテリッカ アルテリッカ演芸座① 近未来名人寄席	21ホール	D	※各自★	学外公演
11	5月3日	水・祝	14:00	アルテリッカ 人間国宝の競演(友枝昭世・山本東次郎)	麻生市民館	D	※各自★	学外公演
12	5月3日	水・祝	18:30	アルテリッカ 有田正広	ユリホール	A	50	
13	5月4日	木・祝	13:00	アルテリッカ アルテリッカ演芸座② 近未来名人寄席	21ホール	D	※各自★	学外公演
14	5月4日	木・祝	15:00	アルテリッカ 藤原歌劇団Quattro Aria スプリングコンサート2017	麻生市民館	A	※各自★	学外公演
15	5月5日	金・祝	14:00	アルテリッカ ソプラノマジック!	ユリホール	A	30	
16	5月6日	土	14:00	アルテリッカ トリオ・リベルタ plays ワールド・ミュージック	麻生市民館	A	30	学外公演
17	5月6日	土	15:30	アルテリッカ 和太鼓梵天コンサート2017	ジーリオ	D	80	
18	5月7日	日	15:00	アルテリッカ 東京交響楽団演奏会	ジーリオ	A	80	
19	5月※未定	-	-	第87回読売新聞社主催新人演奏会	東京文化会館	A	※各自★	学外公演
20	5月14日	日	14:00	アルテリッカ スターダンサーズ・バレエ団「ドラゴンクエスト」	ジーリオ	B	80	
21	5月16日	火	18:20	学内演奏会①	ユリホール	C	※直接	
22	5月23日	火	18:30	能楽(日本伝統音楽演習との乗入れ)	ユリホール	D	200	教職流用不可
23	未定	未定	-	ピリオド音楽研究所①	未定	A	未定	
24	6月3日	土	14:00	吹奏楽団昭和ウインド・シンフォニー第18回定期演奏会	ジーリオ	A	100	
25	6月6日	火	18:20	第19回作曲学科作品発表	ユリホール	C	※直接	
26	6月10日	土	12:00	高校生のための歌曲コンクール本選	ジーリオ	A	※直接	
27	6月13日	火	18:20	学内演奏会②	ユリホール	C	※直接	
28	6月17日	土	未定	歌舞伎(日本伝統音楽演習との乗入れ)	国立劇場	D	25	学外公演 教職流用不可
29	6月18日	日	未定	歌舞伎(日本伝統音楽演習との乗入れ)	国立劇場	D	25	
30	6月23日	金	19:00	しんゆりジャズスクエア	アートセンター	C	※各自	学外公演
31	6月24日	土	14:00	テアトロ・ジーリオ・ショウ・オケストラ特別演奏会	ジーリオ	A	100	
32	6月24日	土	14:00	しんゆり寄席	アートセンター	D	※各自	学外公演
33	6月27日	火	18:30	雅楽(日本伝統音楽演習との乗入れ)	ユリホール	D	200	教職流用不可
34	7月8日	土	未定	昭和音楽大学室内合奏団 第7回定期演奏会	ユリホール	A	100	
35	7月9日	日	14:00	吹奏楽特別演奏会	ジーリオ	A	100	
36	7月13日	木	未定	ジョン・オコーナー演奏会	ユリホール	A	未定	
37	7月17日	月・祝	14:00	善竹狂言会	銀座 観世能楽堂	D	※各自	学外公演
38	7月22日	土	14:00	しんゆり寄席	アートセンター	D	※各自	学外公演

回数	日程	曜日	開演時間	名称	会場	分野 区分	チケット 数予定	備考
39	9月16日	土	12:00	ミュージカル「ビリー・エリオット」	赤坂ACTシアター	B	15	学外公演
40	9月23日	土・祝	14:00	テアトロ・ジューリア・ショウ・オーケストラ第15回定期演奏会	ジューリオ	A	100	
41	9月24日	日	午後	英語劇「十二夜」	スタジオ・リリエ	B	30	
42	9月26日	火	18:20	教員、研究員発表①	ユリホール	C	100	
43	9月29日	金	19:00	しんゆりジャズスクエア	アートセンター	C	※各自	学外公演
44	9月30日	土	14:00	しんゆり寄席	アートセンター	D	※各自	学外公演
45	10月5日	木	18:20	教員、研究員発表②	ユリホール	C	100	
46	10月7日	土	14:00	大学オペラ公演2017「ドン・ジョヴァンニ」	ジューリオ	B	100	
47	10月8日	日	14:00	大学オペラ公演2017「ドン・ジョヴァンニ」	ジューリオ	B	100	
48	10月12日	木	18:20	教員、研究員発表③	ユリホール	C	100	
49	10月14日～ 22日	土～日	未定	しんゆりシアターミュージカルカンパニー 「ねこはしる」	アートセンター	B	※各自	学外公演
50	10月15日	日	未定	電子オルガン伴奏によるピアノコンチェルト 演奏会	ユリホール	A	※直接	
51	10月17日	火	18:20	学内演奏会③	ユリホール	C	※直接	
52	10月25日	水	未定	室内楽定期演奏会	ユリホール	A	未定	
53	10月28日	土	14:00	しんゆり寄席	アートセンター	D	※各自	学外公演
54	10月29日	日	14:00	第25回コンチェルト定期演奏会	ジューリオ	A	100	
55	10月31日	火	未定	第15回学長賞声楽コンクール本選	ジューリオ	A	※直接	
56	未定		未定	ピリオド音楽研究所②	未定	A	未定	
57	11月9日	木	未定	作曲学科作品・研究発表	ユリホール	C	※直接	
58	11月※未定	-	-	かわさきジャズ	ジューリオ	C	未定	
59	11月21日	火	18:20	学内演奏会④	ユリホール	C	※直接	
60	11月24日	金	19:00	しんゆりジャズスクエア	アートセンター	C	※各自	学外公演
61	11月25日	土	14:00	しんゆり寄席	アートセンター	D	※各自	学外公演
62	11月25日	土	15:00	音大オーケストラ・フェスティバル	ミュゼザ川崎	A	※各自	学外公演
63	11月26日	日	14:00	管弦楽団第36回定期演奏会	ジューリオ	A	100	
64	11月30日	木	18:30	第15回電子オルガン定期演奏会	ユリホール	A	50	
65	12月3日	日	15:00	平成29年度学部バレエ試演会・卒業公演	ジューリオ	B	100	
66	12月5日	火	未定	吹奏楽指導実習発表会	ジューリオ	A	未定	
67	12月16日	土	14:00	第42回メサイア	ジューリオ	A	100	
68	12月17日	日	14:00	善竹富太郎の狂言会SORORI	千駄ヶ谷 国立能楽堂	D	※各自	学外公演
69	12月17日	日	14:00	吹奏楽団第31回定期演奏会	ジューリオ	A	100	
70	12月23日	土	14:00	しんゆり寄席	アートセンター	D	※各自	学外公演
71	12月24日	日	未定	平成29年度ミュージカル・舞台スタッフコース卒業公演	ジューリオ	B	100	
72	12月26日	火	未定	平成29年度短大バレエコース後期試演会	スタジオ・リリエ	B	100	
73	12月29日	金	15:00	テアトロ・ジューリア・ショウ・オーケストラ第九演奏会	ジューリオ	A	※各自★	

## 演奏会・講座・提携事業等

### I 演奏会

平成29年度実績

月日	曜日	名称	会場
4月1日	土	平成29年度 入学式奏楽・祝賀演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
4月15日	土	昭和音楽大学・ソウル市立大学校 日韓大学交流コンサート	ユリホール
5月16日	火	第1回学内演奏会	ユリホール
6月3日	土	吹奏楽団第18回昭和ウインド・シンフォニー定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
6月6日	火	第19回作曲学科作品発表	ユリホール
6月13日	火	第2回学内演奏会	ユリホール
7月2日	日	学部ミュージカルコース(3年)前期成果発表会	スタジオ・リリエ
7月8日	土	室内合奏団第7回定期演奏会	ユリホール
7月9日	日	昭和音楽大学ウインド・オーケストラ/ ベーシック・バンド特別演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
7月16日	日	学部ミュージカルコース(4年)前期成果発表会	スタジオ・リリエ
8月8日	火	短大バレエコース(1, 2年)前期試演会	スタジオ・リリエ
8月10日	木	フェスタ・サマーミュージックKAWASAKI2017 昭和音楽大学管弦楽団×テアトロ・ジューリオ・ショウワ・ オーケストラ	ミュージック川崎シンフォニーホール
8月25日	金	学生と卒業生によるコンサートin鹿児島	サンエールかごしま
8月26日	土	Jazz Festival at Conservatory 2017	東邦音楽大学
9月10日～ 9月13日	-	日韓大学交流コンサートinソウル	韓国
8月26日～ 10月8日	-	アートマネジメント人材育成事業	
9月26日～ 10月2日	-	日豪文化交流事業(ジャズ交流 渡豪・来日)	オーストラリア
9月26日	火	教員・研究員研究発表①	ユリホール
9月30日	土	大学ビッグバンド・ジャズフェスティバル	ウェスタ川越
10月5日	木	教員・研究員研究発表②	ユリホール
10月7日	土	大学オペラ公演2017 「ドン・ジョヴァンニ」(上海音楽学院との交流プロジェクト)	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
10月8日	日	"	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
10月12日	木	教員・研究員研究発表③	ユリホール
10月17日	火	第3回学内演奏会	ユリホール
10月20日	金	第6回アンサンブルコンクール	ユリホール
10月24日	火	第15回学長賞声楽コンクール 予選	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
10月29日	日	第24回コンチェルト定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
10月31日	火	第15回学長賞声楽コンクール 本選	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
11月21日	火	第4回学内演奏会	ユリホール
11月25日	土	第8回音楽大学オーケストラ・フェスティバル	ミュージック川崎シンフォニーホール
11月26日	日	管弦楽団第36回定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
11月30日	木	第15回電子オルガン定期演奏会	ユリホール

月日	曜日	名称	会場
12月3日	日	学部バレエコース試演会・卒業公演	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
12月16日	土	第42回メサイア	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
12月17日	日	吹奏楽団第31回定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
12月24日	日	平成29年度ミュージカル・舞台スタッフコース卒業公演	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
12月26日	火	短大バレエコース(1, 2年)後期試演会	スタジオ・リリエ
1月21日	日	学部ミュージカルコース(3年)後期成果発表会	スタジオ・リリエ
2月10日	土	大学院修士課程修了オペラ公演	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
2月18日	日	短大バレエコース卒業公演	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
2月24日	土	大学院室内楽コンサート	ユリホール
2月25日	日	学部・短大ジャズ・ポピュラー音楽コース卒業ライブ	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
3月3日	土	文化庁委託新進芸術家育成事業「オペラアリア・コンサート」	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
3月19日	月	卒業演奏会	ユリホール
3月20日	火	”	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
3月21日	水	卒業式奏楽	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
3月24日	土	第7回音楽大学フェスティバル・オーケストラ	ミューザ川崎シンフォニーホール
3月25日	日	第7回音楽大学フェスティバル・オーケストラ	東京芸術劇場

## Ⅱ 演奏会(テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ)

平成29年度実績

<本学主催>

月日	曜日	名称	会場
6月24日	土	特別演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
9月23日	土・祝	第15回定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
12月29日	金	第九演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
3月17日	土	第16回定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
5月4日	木・祝	初めて体験・オーケストラコンサート	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
7月13日	木	ジョン・オコーナー ピアノコンサート	ユリホール
8月10日	火	フェスタ・サマーミュージックKAWASAKI2017 昭和音楽大学管弦楽団×テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ	ミュージック川崎シンフォニーホール
10月29日	日	第24回コンチェルト定期演奏会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
3月3日	土	文化庁委託 新進芸術家育成事業「オペラアリア・コンサート」	テアトロ・ジューリオ・ショウワ

<外部主催公演>

月日	曜日	名称	会場
4月16日	日	しんゆりフラ芸術祭	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
4月29日	土	藤原歌劇団公演「セビリヤの理髪師」	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
4月30日	日	藤原歌劇団公演「セビリヤの理髪師」	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
5月13日	土	スターダンサーズ・バレエ団公演「ドラゴンクエスト」	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
5月14日	日	スターダンサーズ・バレエ団公演「ドラゴンクエスト」	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
7月30日	日	奥州市文化会館開館25周年記念事業オペラ公演「ラ・ボエーム」	奥州市民文化会館
8月5日	土	スターダンサーズ・バレエ団8月公演「サマーミックスプログラム」	新国立劇場
8月6日	日	スターダンサーズ・バレエ団8月公演「サマーミックスプログラム」	新国立劇場
10月1日	日	川崎市スポーツ・文化総合センター開館記念事業「オペラ・ガラ・コンサート」	川崎市スポーツ・文化総合センター
11月13日	月	スターダンサーズ・バレエ団「ジゼル」公演(跡見学園音楽鑑賞教室)	東京文化会館
11月27日	月	デュー・ランキ ピアノ協奏曲の夕べ	澤柳記念講堂(成城学園内)
12月3日	日	師走に響く第九の調べ 伊勢原第九コンサート	伊勢原市民文化会館
12月8日	金	スターダンサーズ・バレエ団公演「くるみ割り人形」	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
12月9日	土	スターダンサーズ・バレエ団公演「くるみ割り人形」	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
12月10日	日	スターダンサーズ・バレエ団公演「くるみ割り人形」	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
12月28日	木	OPクレジットカード貸切公演「第九演奏会」	テアトロ・ジューリオ・ショウワ

Ⅲ. 生涯学習講座・提携事業

平成29年度実績

< 本学主催 >

月日	曜日	名称	会場
通年(隔週)	日	しょうわ ジュニア・オーケストラ ※前期は、かわさきジュニア・オーケストラに参加・活動	南校舎教室
通年	土・日	ピアノ指導法講座	南校舎教室
4月11日	火	ファビオ・ルイーダ オペラアリア・マスタークラス	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
5月～9月	月	日本歌曲を歌おう！2017(前期) 5/15・29、6/12・26、7/10・24、8/7・28、9/4(月)、9/9(土)	北校舎教室
5月23日	火	特別授業一般公開 日本伝統音楽演習「能楽」	ユリホール
6月1日	水	学長カフェVol.1 魂のロシア芸術－ノスタルジーと熱狂－	ユリホール
6月25日	日	音楽療法講座Ⅰ 児童領域の音楽療法－特別支援教育の現場から－	南校舎C511
6月27日	火	特別授業一般公開 日本伝統音楽演習「雅楽」	ユリホール
7月1日	土	教養講座 2時間で学ぶ作曲家2017－バッハ&メンデルスゾーン－ 第1回バッハ①	南校舎C511
8月26日	土	音大で学ぶ！音楽・楽譜制作講座 [Finaleを使って(中級)]	南校舎C411
8月27日	日	音大で学ぶ！音楽・音響プログラミング講座 めざせ、未来のサウンド&ミュージック・クリエイター講座	南校舎C411
9月16日	土	教養講座 2時間で学ぶ作曲家2017－バッハ&メンデルスゾーン－ 第2回バッハ②	南校舎C511
9月24日	日	大学オペラ公演プレ講座 「ドン・ジョヴァンニ」の楽しみ方&ハイライトコンサート	南校舎C511
10月～2月	月	日本歌曲を歌おう！2017(後期) 10/2・23・30、11/6・20・27、12/4・11、1/15・29(月)、2/3(土)	北校舎教室
10月1日	日	音楽療法講座Ⅱ 児童領域の音楽療法－子どものコミュニケーション行動を育てる技法－	南校舎A311
10月6日	金	大学オペラ公演 ゲネプロ見学会	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
10月14日	土	教養講座 2時間で学ぶ作曲家2017－バッハ&メンデルスゾーン－ 第3回メンデルスゾーン①	南校舎A311
10月18日	水	学長カフェVol.2 音楽と自由	ユリホール
11月12日	日	音楽療法講座Ⅲ 児童領域の音楽療法－ワークショップ－	南校舎C511
11月25日	土	教養講座 2時間で学ぶ作曲家2017－バッハ&メンデルスゾーン－ 第4回メンデルスゾーン②	南校舎B311
11月26日	日	音大で学ぶ!!デジタル作曲講座 [Studio One Primeを使って(初級)]	南校舎C411
12月7日	木	「メサイア」プレ講座	南校舎C511
3月10日	土	教養講座 触発しあう美術／音楽 [ピアノ演奏付]	南校舎C511
3月11日	日	しょうわ ジュニア・オーケストラ 第13回定期演奏会	テアトロ・ジーリオ・ショウワ

<共催>

月日	曜日	名称	会場
認定NPO法人かわさき市民アカデミー			
9月～1月	水	素晴らしき舞台芸術 イタリア・オペラをもっと知るーベルカントとヴェリスモー 9/27、10/4、11/8・22、1/17・24	ラ・サーラ・スカラ
月日	曜日	名称	会場
株式会社 プレラーディオ			
通年	火・水・木	オペラ歌手と日本の名曲を歌う会(全12回) 4/20、5/18、6/22、7/19、8/24、9/21、10/19、11/22、12/21、1/18、2/27、3/22	ユリホール
6月11日	日	SHOWAミュージック・カフェ2017① 「オーディション選出者によるコンサート」	ユリホール
6月17日	土	～あなたも名演奏家～ おとなのコンサート Vol.17	ユリホール
9月30日	土	SHOWAミュージック・カフェ2017② 「オーディション選出者によるコンサート」	ユリホール
11月25日	土	SHOWAミュージック・カフェ2017③ 「声楽コンサート」	ユリホール
3月3日	土	SHOWAミュージック・カフェ2017④ 「オーディション選出者によるコンサート」	ユリホール
3月18日	日	～あなたも名演奏家～ おとなのコンサート Vol.18	ユリホール

<提携事業>

新冠町提携事業(新冠町／北海道)
1. 音楽団体演奏クリニック 2. 昭和ウインド・シンフォニーコンサート
かわさき ジュニア・オーケストラ(公益財団法人 川崎市文化財団)

## 《オペラ研究所》

### ○オペラ研究所の事業

昭和音楽大学オペラ研究所は、昭和音楽大学の建学の精神に基づき、総合芸術たるオペラおよびその関連領域について研究することを目的とする。

### ●平成 29 年度活動内容

#### ①公開講座の開催

##### (1) オペラ制作講座シリーズ第 2 回『オペラ公演をつくるには』の開催

オペラを各地で制作しているオペラ団体、劇場・音楽堂等の担当者の方々に向けたオペラ制作講座を開催し、全国のオペラ制作者、市民オペラ担当者、文化財団・劇場担当者、演奏家など 64 名が参加した。

期日：平成 29 年 10 月 21 日（土）10:30～18:20

会場：テアトロ・ジューリオ・ショウワ、南校舎 A411 教室

ゲスト講師：園田隆一郎（指揮者／藤沢市民オペラ芸術監督）

講師：大仁田雅彦（本学教授／舞台監督／舞台監督集団「ザ・スタッフ」）

仁科岡彦（本学非常勤講師／（公財）日本オペラ振興会事業部長）

下八川共祐（学校法人東成学園理事長、（公財）日本オペラ振興会常務理事）

石田麻子（本学教授）

##### (2) 公開講座「ヨーロッパの歌劇場で歌うには」開催

フランス国立ラン歌劇場ディレクタージェネラルに新しく就任したエヴァ・クライニッツ氏を招き、ヨーロッパでの歌劇場での歌手の起用事情について、さらに歌手がオーディションを受けるために必要となる知識や準備についての公開講座を行った。その中で本学の在校生・卒業生などの若い歌手による模擬オーディションも実施した。

期日：平成 29 年 11 月 17 日（金）18:30～20:30

会場：テアトロ・ジューリオ・ショウワ

#### ②日本国内におけるオペラ団体の活動実態調査と資料収集

音楽評論家の関根礼子氏を中心に、日本国内におけるオペラ団体の活動実態調査と資料収集を継続して行った。蓄積した情報は、『日本のオペラ年鑑』編纂に活かされるほか、オペラ関係者の要望に応じて提供される。

#### ③『日本のオペラ年鑑 2016』の編纂・刊行

本学の石田麻子教授を編纂委員長とし、日本国内で行われたオペラ公演についての記録と分析記事を掲載する『日本のオペラ年鑑 2016』を編纂・刊行した。

本事業は平成 8 年度から継続的に行われているもので、本年度は文化庁委託事業「平成 29 年

度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」として本学が受託した。

【編纂委員（五十音順、敬称略）】

石田 麻子：本学オペラ研究所所長・教授、独立行政法人日本芸術文化振興会プログラムオフィサー（音楽分野）〔編纂委員長〕

江藤 光紀：筑波大学人文社会系准教授

小畑 恒夫：本学教授

河野 典子：音楽評論家

関根 礼子：音楽評論家、本学オペラ研究所嘱託研究員、公益財団法人三菱 UFJ 信託芸術文化財団 理事

堀内 修：音楽評論家

【執筆者】

大田美佐子：神戸大学大学院准教授

④オンラインデータベース『オペラ情報センター』の運営

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（平成 24～28 年度）により構築したオンラインデータベース『オペラ情報センター』へのデータ入力について、文部科学省の補助事業としては昨年度で終了となったが、当研究所の事業として継続して入力を実施し、データの拡充を行った。

⑤新国立劇場の特別展示に対する調査・監修

公益財団法人新国立劇場運営財団の依頼により「特別展示 文化プログラム企画〔日本の現代舞台芸術〕」のパネル展示開催にあたって、オペラ部門の内容についての調査・監修を受託した。平成 29 年度は昭和 20 年～平成 9 年までの内容について調査・監修を行い、平成 30 年の新国立劇場開場 20 周年記念式典に合わせ、新国立劇場にて公開が開始された。

⑥新国立劇場との提携

本学が公益財団法人新国立劇場運営財団と交わした研究成果やデータの相互貸与に関する覚書にもとづき、当研究所が引き続きその窓口となった。

## 《バレエ研究所》

昭和音楽大学バレエ研究所は、国内唯一の大学附属バレエ研究機関として平成 18 年に設立された。日本におけるバレエ教育やバレエ文化について調査・研究を行うことが目的である。本年度は文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「バレエ情報センター機能の構築」事業を中心として活動した。本事業の趣旨はバレエ関連資料やデータをバレエ研究所において一元的に整理・保存し、公開することで、本研究所に日本でも有数のバレエ情報拠点を構築することである。

### ●平成 29 年度活動内容

#### 1. 「バレエ情報センター機能の構築」[平成 27～31 年度]

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の補助を受け「バレエ情報センター機能の構築」プロジェクトを進めた。本事業はバレエ研究所に、我が国におけるバレエ研究の拠点を形成することが目的である。5 カ年計画の 3 年目となる平成 29 年度には、企画展『日本におけるバランシン』（日時：平成 29 年 8 月 5 日・6 日、場所：新国立劇場オペラパレス ホワイエ）を開催したほか、バレエ資料収集、デジタルアーカイブの構築・データ統合作業、バレエに関わる全国調査、調査結果の公開などを行った。

#### 【プロジェクト研究員】

##### 研究代表

小山 久美 バレエ研究所所長

##### 研究員 [学内] (五十音順)

石田 麻子 オペラ研究所、昭和音楽大学 教授  
岩部 純子 昭和音楽大学 専任講師／短期大学部 非常勤講師  
尾崎 瑠衣 バレエ研究所 研究員、昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師  
小夙 健太 昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師

##### 研究員 [学外] (五十音順)

薄井 憲二 公益社団法人日本バレエ協会 前会長 (～1 月)  
海野 敏 東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科 教授  
大原 永子 新国立劇場 舞踊芸術監督  
高野 明彦 国立情報学研究所、東京大学大学院情報理工学系研究科 教授  
高橋 典夫 一般社団法人日本バレエ団連盟 理事長  
松澤 慶信 日本女子体育大学体育学部運動科学科 教授  
溝上 智恵子 筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 教授

① プロジェクト研究員会議の開催

日時：平成 29 年 4 月 20 日（木）10 時～12 時

場所：昭和音楽大学北校舎 会議室

議題：平成 28 年度までの事業報告と平成 29 年度以降の事業予定

② 「日本におけるバランシン」企画展開催

平成 29 年 8 月 5 日、6 日の 2 日間にわたり、新国立劇場オペラハウス ホワイエで企画展を開催した。ジョージ・バランシンは 20 世紀でもっとも重要な振付家のひとりである。

本企画展では本事業で構築中のデータベースをもととして、バランシン作品の日本上演史をテーマとしてパネル、デジタルアーカイヴ、オーラルヒストリー展示などを行った。来場者数はのべ約 2000 人で、一般や研究者、関係者から好意的な反応が多くあった。同様の展示をもっと開催してほしいというコメントも複数あった。

③ 国内外のバレエ関連資料の拡充、資料保存環境の整備

昨年度に引き続き、国内外のバレエに関連する資料収集と、国内外のダンスアーカイヴに関する情報収集を行った。広く一般にバレエ資料の寄贈を呼びかけた結果、複数の機関や個人から寄贈を受けることができた。加えて国内の関連資料室や図書館等との連携を強化し、重複した資料を融通しあうことで、資料のさらなる拡充を図った。また資料保存棚を購入するなど、バレエ研究所内の資料保存環境の見直しと整備を行った。

④ デジタルアーカイヴシステムプロトタイプ構築、データ統合作業

『日本におけるバランシン』企画展では、データの対象を振付家ジョージ・バランシンの作品の日本における上演データに絞り、アーカイヴシステムの試作を行った。上演データを元としたヒートマップの作成、貴重資料の PDF 化等を行い、その成果は企画展にて一般や研究者に向けて公開した。このプロトタイプを叩き台として、デジタルアーカイヴの最終版設計に向けて、具体的な打ち合わせに入った。

また表記ゆれなどの問題でデータが統合されていないため、データの統合作業を行った。

⑤ 国内外バレエ環境に関する調査・調査結果公開

本年度は国内におけるバレエ環境に関する調査を行った。

■『全国バレエコンクール調査 2017』の調査

国内で開催されているバレエコンクール数やコンクール応募者数、審査部門や審査内容等について調査を行った。返却された全国アンケート調査結果を集計し、その結果をまとめた。調査結果はバレエ研究所ウェブサイトで公開するほか、リーフレットとしてメディアや研究者、関係者等に配布予定である。

## ■『バレエ教育に関する全国調査』の調査結果公開

昨年度、国内のバレエ教室数や生徒数、教師数等をはじめ、バレエ教育環境に関する最新の動向と近年の変化を把握するため『バレエ教育に関する全国調査 2016』を実施した。この調査では全国 4,793 件のバレエ教育機関にアンケート調査を実施したところ、約 3 割にあたる 1,557 件の回答を得ることができた。結果は本年度にリニューアルしたバレエ研究所ウェブサイト上で公表した。本調査には一般のバレエ愛好家だけでなく、テレビや新聞等のメディア関係者からも大きな反響があった。また平成 29 年 12 月に、調査結果を元として小山久美所長が『音楽芸術マネジメント』第 9 号で研究論文（「日本バレエ教育市場の変化－『バレエ教育に関する全国実態調査』に基づく分析－」東洋大学海野敏教授共著）を発表した。

## 2. 研究所ウェブサイトの大規模リニューアル

バレエ研究所のウェブサイトを全面的にリニューアルした。研究結果やイベント等の情報がさらに見やすくなったほか、利用者が必要な情報にたどり着きやすくなった。また研究所に関わるニュースも即時にアップロードすることが可能となった。デザインも一新し、洗練された印象になった。

## 3. バレエダンサーの栄養に関する研究

「水中体重秤量法による体脂肪率測定」

本測定は、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「バレエ教育現場との連携による日本におけるバレエ教育システムに関する研究」[平成 20～24 年]の一環として、平成 23、24 年度に教育方法研究開発グループが実施した実験であり、以後継続的に実施している女性バレエダンサーの体組成調査である。

例年、栄養学受講者の学生を対象として測定を行ってきたが、栄養学受講者以外のバレエコースの学生の参加希望者も多く、本年度も栄養学受講者に限らずバレエコースの学生にも参加を募り、調査を行った。

実施日：平成 29 年 6 月 26 日（月）

実施場所：慶應義塾大学スポーツ医学研究センター（日吉キャンパス）

参加者数：11 名

## 【バレエ研究所研究員】

所長

小山 久美          昭和音楽大学短期大学部 教授

バレエ研究所アドバイザー（五十音順）

石井 清子          東京シティ・バレエ団 評議員

海野 敏 東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科 教授、舞踊評論家  
牧 阿佐美 新国立劇場バレエ研修所 所長

研究員（五十音順）

市瀬 陽子 聖徳大学音楽学部音楽総合学科 准教授、  
昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師  
岩部 純子 昭和音楽大学 専任講師／短期大学部 非常勤講師  
尾崎 瑠衣 昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師  
勝川 史憲 慶應義塾大学スポーツ医学研究センター 教授、  
昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師  
小尻 健太 昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師  
杉本 亮子 昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師  
村山 久美子 昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師

## 《舞台芸術政策研究所》

昭和音楽大学舞台芸術政策研究所は、舞台芸術政策・マネジメントに関する調査・研究と提案・発信を行うことを目的に、平成25年1月に設置。関係機関と密接な連携を図りながら、専門的見地からの舞台芸術に関するデータの収集・分析と振興方策の提案を行い、わが国の舞台芸術の発展に寄与する。

### ●平成29年度活動内容

本研究所の事業の一つである「川崎市スポーツ・文化複合施設整備事業」は、施設本体が完成し、平成29年10月1日に「カルッツかわさき（川崎市スポーツ・文化総合センター）」として開館を迎えた。この事業において本研究所は(株)プレルーディオとともに文化ホールの企画運営を担い、平成29年度は、本研究所の専門的見地に基づき、開館記念行事（開館記念式典とオープニングイベント）の企画案を作成し実行し、開館後のホール運営案作成等に関する取り組みにも従事した。

また、アジア各国の舞台芸術関係者（劇場・音楽堂、アーティストマネジメント事務所、舞台芸術研究機関等）が一堂に会し、音楽界の国際情勢に関する意見交換・情報交換をする場であるFACP（アジア文化芸術交流促進連盟）に参加し、各国の情報を収集した。

加えて、『日本音楽芸術マネジメント学会』の事務局運営を、舞台芸術政策研究所が引き続き実施し、理事会・研究会等の開催について企画立案し、運営している。

さらに、日本芸術文化振興会から業務委託を受け、「イングランド及びスコットランドにおける文化芸術活動に対する助成システム等に関する実態調査」の調査研究に着手した。

2月には文化庁が募集する「文化庁・大学等共同研究事業」を申請した結果、採択され、3月17日に文化庁と共催で、日本・中国・韓国3か国で劇場や団体において実演芸術創造の第一線で携わるリーダーを招き、国際シンポジウムを開催する運びとなった。

### 【研究員】

所長

石田 麻子                      昭和音楽大学教授

研究員   （五十音順）

赤木 舞                        昭和音楽大学非常勤講師

大仁田雅彦                   昭和音楽大学教授

菅野 幸子                    昭和音楽大学嘱託研究員

岸田 生郎                    昭和音楽大学教授

北嶋 ゆきえ                 昭和音楽大学嘱託研究員

酒井健太郎                 昭和音楽大学准教授

菫澤 弘志                    昭和音楽大学客員教授

吉原 潤                      昭和音楽大学専任講師

### 【川崎市事業への参画】

- ・事業名称:スポーツ・文化複合施設整備等事業(川崎市富士見地区)  
開館後の名称:「カルッツかわさき(川崎市スポーツ・文化総合センター)」
- ・指定管理者 アクサス川崎

### 【第35回FACP2017inバンコク会議の参加】

- 期日:平成29年11月3日(金)～11月6日(月)
- 会場:タイ・バンコク
- 参加者:石田麻子(舞台芸術政策研究所所長、教授)、家安勝利(アートマネジメント研究所 研究員)

### 【日本音楽芸術マネジメント学会】

#### ① 第9回夏の研究会開催

- 期日:平成29年7月22日(土)
- 会場:東京音楽大学A200教室
- シンポジウム:新・文化庁の文化芸術戦略を考える

【基調講演】中岡 司 文化庁 文化次長

【パネル・ディスカッション】

[パネリスト] 中岡司 文化庁 次長

井形健児 広島交響楽団 事務局長

永井健一 神奈川県民ホール 副館長

大和滋 (公社) 芸能実演家団体協議会 参与

[モデレーター]

石田麻子 昭和音楽大学 教授/JaSMAM 理事

#### ② 第10回冬の研究大会開催

- 期日:平成29年12月16日(土)
- 会場:武蔵野音楽大学江古田キャンパス
- シンポジウム:伝統芸能の未来のために ―文化財継承施策の新展開に向けて―

【基調講演】「文化財保護制度の見直しと伝統芸能の振興」

山崎 秀保 文化庁文化財部長

【パネル・ディスカッション】

【パネリスト】

梅若 玄祥 能楽師、重要無形文化財保持者(各個認定)、日本芸術院会員

門脇 幸恵 国立演芸場営業課主任

齊藤 裕嗣 東京文化財研究所客員研究員

山崎 秀保 文化庁文化財部長

【モデレーター】

蕪澤 弘志 昭和音楽大学客員教授

【総合司会】

中川 俊宏 武蔵野音楽大学教授

【日本芸術文化振興会からの調査研究受託】

調査内容：「イングランド及びスコットランドにおける文化芸術活動に対する助成システム等に関する実態調査」

履行期間：平成29年11月11日～平成30年9月30日まで

## 《歌曲研究所》

### 1 平成 29 年度活動実績

#### 1) イタリア語唱法研究部会

「日本人としてのベルカント唱法」

日 時：平成 29 年 10 月 19 日（木）18:00-20:00

場 所：ユリホール

講 師：松本美和子 客員教授

演 奏：修士課程 1 年 2 名、2 年 1 名 ピアノ 松原裕子 講師

曲 目：V.Bellini 「Ma rendi pur contento」 F.P.Tosti 「Maria」

F.P.Tosti 「Ridonami la calma」

内 容：「日本人としてのベルカント唱法」のテーマのもと、研究会を行った。

#### 2) 日本語唱法研究部会

「日本の歌ファースト～その繊細な歌の魅力を伝えるために～」

日 時：平成 29 年 11 月 9 日（木）18:00-20:00

場 所：南校舎 C511 教室

講 師：郡愛子 氏

演 奏：修士課程 1 年 4 名、ピアノ 小林浩子 研究員

曲 目：山田耕筰「唄」「城ヶ島の雨」、中田喜直「さくら横ちょう」

高田三郎「くちなし」

内 容：日本オペラ協会総監督の郡氏を招き、日本歌曲の研究会を行った。

#### 3) 高校生のための歌曲コンクール

平成 12 年度から実行委員会形式で開催してきた本コンクールを、平成 15 年度より昭和音楽大学の主催とし音楽教育研究所の研究課題として実施してきた。平成 22 年度より歌曲研究所に移管し、継続して研究している。

#### 1. 過去の参加者数

平成 12 年度（第 1 回）198 名、平成 13 年度（第 2 回）249 名

平成 14 年度（第 3 回）259 名、平成 15 年度（第 4 回）258 名

平成 16 年度（第 5 回）248 名、平成 17 年度（第 6 回）258 名

平成 18 年度（第 7 回）240 名、平成 19 年度（第 8 回）199 名

平成 20 年度（第 9 回）172 名、平成 21 年度（第 10 回）179 名

平成 22 年度（第 11 回）151 名、平成 23 年度（第 12 回）203 名

平成 24 年度（第 13 回）231 名、平成 25 年度（第 14 回）224 名

平成 26 年度（第 15 回）193 名、平成 27 年度（第 16 回）174 名  
平成 28 年度（第 17 回）189 名、平成 29 年度（第 18 回）204 名

## 2. 平成 29 年度（第 18 回）実施概要

予 選（全国ブロック予選会／公開審査）

- ・日程：平成 29 年 5 月（9 日間）
- ・会 場：全国 8 会場
- ・参加者：204 名（女声 167 名、男声 37 名）

本 選（公開審査）

- ・日 時：平成 29 年 6 月 10 日（土）
- ・会 場：テアトロ・ジーリオ・ショウワ
- ・参加者：40 名（女声 30 名、男声 10 名）

表 彰

- ・優勝賞：6 名
- ・奨励賞：15 名

## 《アートマネジメント研究所》

アートマネジメント研究所は、アートマネジメントに関する領域の研究および関連分野の研究を目的としており、「アートマネジメント研究部会」、「コミュニケーションセンター」の2つの部門で活動している。

### ●平成 29 年度活動内容

#### 【アートマネジメント研究部会】

アートマネジメント研究部会は、研究員それぞれが自身の研究活動や共同研究をベースに、時事的なテーマに基づいた研究発表・研究会を行っている。平成 29 年度は、以下の研究活動および「音楽芸術運営研究 No. 11」の発行に加えて、「アートマネジメント研究会」を行った。

#### ① 研究会の実施

- ・平成 29 年 7 月 11 日（火）「AAAE 第 36 回年次大会参加報告」
- ・平成 29 年 9 月 19 日（火）「人工知能によって生み出される文化コンテンツの権利の所在」
- ・平成 29 年 10 月 3 日（火）「戦前の来日外来歌劇団について」
- ・平成 29 年 11 月 9 日（火）「第 25 回 ENCATC Annual Congress 参加報告」
- ・平成 30 年 1 月 9 日（火） 「アメリカ合衆国の大規模オペラ団体の活動概況  
オペラアメリカ選定の 9 団体を例にとって」

#### ② 「音楽芸術運営研究 No. 11」の発行

研究員の研究活動報告や論文をまとめた「音楽芸術運営研究 No. 11」を発行し、関係大学、文化庁、その他の関係機関に配布した。

#### ③ 「アートマネジメント研究会」

今最も話題になっているチケット転売問題について、国内の事例や海外での取り組み、また今後の業界での対策について、専門の立場の方から最新の情報をお話しいただき、現場で仕事をしている卒業生との情報交換、教員の研修、ならびに在校生の学修を図ることを目的として、以下の概要で実施した。

#### 「チケット高額転売の現状と課題」

日 時：2018 年 1 月 9 日（火）18:00～19:30

場 所：昭和音楽大学 南校舎 A311 教室

講 師：今泉 裕人氏 （一社）日本コンサートプロモーターズ協会事務局長

## 【コミュニケーションセンター】

昭和音楽大学コミュニケーションセンター（SCC）は、「アーツ・イン・コミュニティ」プログラムの運営とそれに伴う研究活動を行っている。

「アーツ・イン・コミュニティ」プログラムは、川崎市麻生区を中心に、学生によるアウトリーチ活動等の音楽芸術交流活動を通して、地域貢献と学生自身の成長を実現し、社会性を持った音楽人の育成を行う取組みである。平成18年度文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」（現代GP）に選定され、平成20年度より正規授業としてカリキュラム化され（科目名「音楽活動研究①、②、③、④」）、平成23年度よりキャリア関連科目としても位置付けられた。

SCCでは、「音楽活動研究」の授業の全般的な運営、派遣依頼受入れの可否の検討と依頼元への連絡・交渉、学生の演奏・指導派遣のコーディネート、広報活動等を行った。

### ①「音楽活動研究」の授業運営

- ・音楽活動研究分科会と連動した「音楽活動研究」の授業の全般的運営
- ・音楽活動セミナーの企画 計16回（音楽活動研究①：7回、音楽活動研究②：9回）
- ・「音楽の贈り物」公演制作・実施（下記⑤に記載）

### ②演奏指導活動派遣

麻生区内小学校2校、多摩区内小学校1校、麻生区内中学校1校、福祉施設2施設、川崎市教育委員会事業1事業（下記③に記載）、麻生区役所保健福祉センター事業1事業（下記④に記載）（合計8件）

活動数：演奏活動11回、教育指導活動 延べ67回

### ③川崎市教育委員会事業：1事業

- ・「平成29年度ジュニア音楽リーダー育成事業」  
日時：2017年8月27日（日）、9月3日（日）  
場所：昭和音楽大学 教室等

### ④麻生区役所保健福祉センターとの連携事業：1事業

「交流コンサート」（「音楽の贈り物」を麻生区役所と共催で実施、内容は下記⑤と同）

### ⑤「音楽の贈り物～リズムでつむごう音のマフラー～」の実施

日時：2017年12月3日（日）14:00-16:00

場所：昭和音楽大学 南校舎1階 C101 スタジオブリオ、他

### ⑥ 広報活動：専用ホームページ、ブログの運用、更新

## 《音楽療法研究所》

音楽療法研究所は、平成 29 年度「音楽療法研究の発展に向けて～医療領域の音楽療法～」を年間テーマに掲げ、研究活動を行った。7 月にはシェリー・L・ロブ (Sheri L. Robb) 博士、12 月には松井紀和客員教授を招き、公開研究会を行った。また、平成 30 年 2 月には、村瀬華子氏を招き公開キャリア支援講座を行った。研究所紀要として平成 23 年度から発行してきた「音楽療法研究」は、平成 29 年度にて第 7 号となった。なお、本年度 7 月 4 日～8 日に茨城県つくば市にて開催された第 15 回世界音楽療法大会には本学音楽療法研究所研究員が多く参加し研究したため、その成果および報告を特集として掲載した。「音楽療法ディベロップメント事業」では、本学学生及び大学院生のキャリア支援および人材開発、教材開発、音楽療法アーカイブを柱として活動した。研究員らによる研究活動は、平成 26 年度から継続している「発達に遅れを示す子どもに対する楽器を利用したコミュニケーション支援」を実施した。なお、本研究所は日本音楽療法学会認定講習会等開催団体登録申請をおこない、9 月末に登録団体となった。12 月の公開研究会および平成 30 年 2 月の公開講座は、学会認定講習会として開催した。

### ●平成 29 年度音楽療法研究所 構成員

所 長：羽石 英里 (本学教授)

研究員：伊藤 啓子 (本学教授) / 白川 ゆう子 (本学専任講師) / 三浦 優佳 (本学助教)

／青木 久美 (本学非常勤講師) / 今村 ゆかり (本学非常勤講師)

／田坂裕子 (本学非常勤講師) / 深野 広美 (本学非常勤講師)

／二俣 泉 (本学非常勤講師) / 村林 信行 (本学非常勤講師)

／横山 順一 (本学非常勤講師) / 田原 ゆみ (本学大学院博士後期課程)

アドヴァイザー：松井 紀和 (本学客員教授 / 日本臨床心理研究所所長 / 精神科医師)

／岸本 宏子 (本学名誉教授)

事務担当：永井 秀範 (本学総務部部長) / 三浦 優佳 (本学助教)

### ●平成 29 年度活動内容

平成 29 年度は、以下の(1)～(6)にわたる事業を行った。

#### 1) 研究所主催研究会の開催

音楽療法の専門家を招聘し、外部音楽療法専門家および音楽療法を学んでいる学生たちにも広く門戸を開いた公開講座を実施した。学外者に対しては有料 (同侪会音楽療法部会会員 500 円、他大学生・外部専門家 1,000 円) にて実施した。

##### 1. 第 1 回研究会 テーマ「小児緩和医療における音楽療法」

日程：7 月 2 日 (日) 会場：C511

講師：シェリー・L・ロブ (Sheri L. Robb) 氏

(インディアナ大学 看護学部 (Indiana University, School of Nursing))

通訳：羽石 英里

## 2. 第2回研究会 テーマ「作業療法と音楽療法」

日程：12月25日（月）18：00～19：30 会場：B311

講師：松井 紀和氏

## 2) 音楽療法研究所紀要『音楽療法研究』の発行

平成23年度に第1号を発行し、平成29年度で発行7年目を迎えた。研究員や院生らによる研究成果や活動報告を記載している。平成29年度は、7月に行われた第15回世界音楽療法大会（つくば）での研究報告を特集として編纂した。

## 3) 「音楽療法ディベロップメント」事業の開催

### 1. 人材開発（キャリア支援）

- ・公開ワークショップ：「大学院生によるワークショップ 音楽療法の実践紹介」の開催

平成29年度現在、大学院の修士課程 音楽芸術運営専攻（音楽療法）に在籍する院生3名と科目等履修生（千葉県長期研修生）が発表者として登壇し、自身の実習や授業内で創作／実践しているオリジナルの音楽療法の活動をワークショップ形式にて紹介した。

日程：平成29年11月25日（土）14：00～15：30

会場：本学南校舎 A311 教室

発表者：大学院音楽芸術運営専攻（音楽療法）修士課程在籍者3名、  
科目等履修生1名

- ・公開講座：「アートセラピーを知る」

米国にてアートセラピーと心理療法の専門性を学び、国内外にて臨床と研究に携わってきた講師の講義と演習から、芸術療法としての音楽療法について考察すると共に専門職を形成するキャリアづくりについて考える機会とした。外部音楽療法専門家および卒業生にも広く門戸を開いた公開講座として実施した。

日程：平成30年2月9日（金）15：30～17：00

会場：本学南校舎 A411 教室

講師：村瀬 華子氏（インディアナ大学ノースウェスト校（Indiana University northwest）／独立行政法人 国立病院機構 久里浜医療センター）

### 2. 教材開発研究

音楽療法実習の中で使用しているオリジナル楽曲（歴代のもの）曲集としてまとめ、形に残すことを目的とし、作業を開始した。本年度は学生が残した手書きの楽譜を収集し、順次データ化（楽譜作成）を行った。

### 3. 音楽療法アーカイブ

- ・シェリー・L・ロブ（Sheri L. Robb）博士へのインタビュー

小児緩和医療およびその家族のための音楽療法研究の第一人者であるシェリー博士に対して、第15回世界音楽療法大会期間中にインタビューを実施した。

内容は「音楽療法研究 Vol.7」に掲載した。

日程：7月5日（水） 会場：つくば国際会議場

インタビュアー：羽石 英里

・村井靖児氏へのインタビュー

我国の音楽療法のパイオニアであり、現在は日本音楽療法学会理事を務めている村井靖児氏に対して訪問によるインタビューを実施した。承諾を得て VTR を撮り、貴重な映像資料とした。

日程：12月11日（月） 会場：聖徳大学（千葉県松戸市）

インタビュアー：岸本 宏子、伊藤 啓子、三浦 優佳

4) 研究員らによる主な研究活動

・発達に遅れを示す子どもに対する楽器を利用したコミュニケーション支援

平成 25 年度 Andante 通室児の音楽療法場面を録画した DVD から、当時その臨床に関わり現在は附属音楽・バレエ教室アンダンティーノクラスアルバイトの松本直子氏（本学大学院修士課程修了者）がデータ起こしを行った。研究成果の一部は第 15 回世界音楽療法大会にて発表した。

研究実施者：伊藤 啓子、白川 ゆう子、田坂 裕子、研究補助：松本 直子

5) 学会発表

平成 29 年 7 月 4 日（火）～8 日（土）に茨城県つくば市にて開催された第 15 回世界音楽療法学会学術大会にて、研究所にて実施した研究について以下のとおり発表を行った。

・ 4) に関わる 口演発表「Drumming for pre-language period ASD girl to improve her social interaction」

発表者：○伊藤 啓子、田坂 裕子、白川 ゆう子、松本 直子

## 《音楽教育研究所》

### ○「推薦音楽会」

平成7年度から、附属音楽・バレエ教室の4歳～高校3年生までのピアノ・声楽・弦・管・打楽器等を専攻している生徒のうち、オーディションにて選出された生徒を出演対象として「推薦音楽会」を開催している。平成17年度からは音楽教育研究所の管轄とし、実力のある優秀な生徒の幼少期から中高生までの演奏力・技術力等の成長について研究課題としている。

平成14年度以降の出演者数は以下の通り。( )はオーディション参加者数

平成14年度	32名(87名)
平成15年度	32名(92名)
平成16年度	27名(97名)
平成17年度	26名(85名)
平成18年度	27名(85名)
平成19年度	28名(85名)
平成20年度	27名(97名)
平成21年度	28名(85名)
平成22年度	31名(81名)
平成23年度	25名(80名)
平成24年度	28名(90名)
平成25年度	28名(87名)
平成26年度	30名(64名)
平成27年度	36名(58名)
平成28年度	36名(49名)
平成29年度	37名(49名)

### ○「特別レッスン」

附属音楽・バレエ教室の生徒のうち、前年度の推薦音楽会出演者及び前年度の特別レッスン受講者を対象に大学教員が定期的にレッスンを実施している。

平成21年度から、音楽・バレエ教室の進学コースに在籍している高校2年生以上で本学への進学を希望している者のうち、主科実技担当講師が本学の兼務教員でない生徒については、本人の希望により、無条件で特別レッスンを受講できることにしている。主な研究内容は、レッスン内容・指導法、受講している生徒の音楽的・テクニクの上達度となっており、その研究成果を踏まえ、どのように学生に還元していくのかを検討している。

平成14年度以降の受講者数は以下の通り。

平成14年度	14名（ピアノのみ）
平成15年度	22名（ピアノ19名、ヴァイオリン2名、チェロ1名）
平成16年度	20名（ピアノ17名、ヴァイオリン2名、チェロ1名）
平成17年度	18名（ピアノ14名、ヴァイオリン3名、チェロ1名）
平成18年度	23名（ピアノ15名、ヴァイオリン6名、チェロ1名）
平成19年度	20名（ピアノ14名、ヴァイオリン6名）
平成20年度	24名（ピアノ18名、ヴァイオリン6名）
平成21年度	31名（ピアノ22名、ヴァイオリン7名、クラリネット1名、ホルン2名、トロンボーン1名）
平成22年度	23名（ピアノ14名、ヴァイオリン8名、フルート1名）
平成23年度	21名（ピアノ13名、ヴァイオリン7名、フルート1名）
平成24年度	27名（ピアノ20名、ヴァイオリン5名、フルート2名）
平成25年度	26名（ピアノ17名、ヴァイオリン7名、フルート1名、クラリネット1名）
平成26年度	26名（ピアノ20名、ヴァイオリン4名、オーボエ1名、電子オルガン1名）
平成27年度	21名（ピアノ12名、ヴァイオリン6名、フルート1名、オーボエ2名）
平成28年度	21名（ピアノ9名、ヴァイオリン4名、フルート2名、オーボエ1名、サクソフォン1名、声楽4名）
平成29年度	25名（ピアノ13名、ヴァイオリン6名、フルート2名、オーボエ1名、サクソフォン1名、声楽2名）

○「プラスワン講座」

附属音楽・バレエ教室で開催するピアノのグレード制度「ステップアップ」の審査に付してミニ講座・ミニコンサートを実施している。平成13年度から16年度まで「ステップアップ」と「プラスワン講座」は共に音楽教育研究所の管轄であったが、「ステップアップ」は研究が終了したため、17年度からは音楽・バレエ教室の管轄となり、以後「プラスワン講座」のみが音楽教育研究所の管轄となった。さまざまなテーマを用いて音楽を幅広い年齢層のピアノ学習者に多角的に伝えることを研究課題としている。

平成29年度の実施内容は下記のとおり。

- 5月14日（日） 新百合ヶ丘校 「即興の楽しさ～ピアノで遊ぼう！」
- 6月24日（土） 藤沢校 「踊るサクソフオーン」

- 8月 5日(土) 戸塚校 「フルートのポテンシャル」
- 9月 3日(日) 新百合ヶ丘校 「名曲でつづるピアノの歴史」
- 10月14日(土) 小田原校 「クラリネットの広い音域の謎？」
- 11月18日(日) 新百合ヶ丘校 「ひとりぼっちではないピアニスト  
～ピアノ連弾のたのしみ」
- 12月16日(土) 本厚木校 「みんなで歌おう！～冬の歌特集～」
- 1月27日(土) 多摩ニュータウン校 「名曲がいっぱい！ステップアップ課題曲」
- 2月24日(土) 港北ニュータウン校 「イタリアとピアノの不思議な関係  
～イタリア語をヒントにピアノで歌ってみよう」
- 3月18日(日) 新百合ヶ丘校 「声の響き・オペラを聴いてみよう！」

○「音楽教育に関する研究活動」

音楽教育に関する研究活動を行い、長期的で広い観点から検討し、大学で行っている教育活動の向上に寄与している。

## 《ピリオド音楽研究所》

### 1 平成 29 年度実績

- ・平成 29 年 6 月 7 日 (水) 第 21 回公開講座

レクチャーコンサート〈文学と音楽〉

内容：音楽とことばは共に密接な関係をもっている。この講座ではことばによる表現芸術である文学と音楽の関連に焦点を当て、詩を元に作られた作品や、物語と関連した作品を解説と共に演奏した。

「ピリオド音楽研究」を受講した大学院生が企画・出演する演奏会。

司会：有田正広

演奏：大学院音楽研究科音楽芸術表現専攻生

ヴァイオリン／伊藤瑳紀 ヴィオラ／岩松優 チェロ／安藤葉月

ハープ／山本文瑠 フルート／岡本真由、鈴木菜月

ピアノ／小滝翔平、柴開人、宮口遥名 作曲・ピアノ／王茂盛

曲目：J. ドンジョーン／サロン・エチュードよりエレジー、セレナーデ

F. リスト／ペトルルカのソネット第 104 番

G. フォーレ／塔の中の王妃

C. サン＝サーンス／死の舞踏

H. ベルリオーズ／幻想交響曲 第 5 楽章

王 茂盛／ロビンソンの思い出

会場：C103 入場者：74 名

- ・平成 30 年 1 月 18 日 (木) 第 22 回公開講座 「音楽歴史の旅」

日本の西洋音楽黎明期 Vol. II 欧州音楽留学の先駆者 幸田延と瀧廉太郎

内容：日本人は西洋音楽をどのように自分たちの文化・社会に取り込んでいったのか、その時代を振り返ることで日本におけるクラシック音楽発展のルーツを探る。

昨年の「日本の洋楽黎明期と幻の楽器オークラウロ」に引き続き、

今回は日本政府が西洋に派遣した最初の音楽留学生だった幸田延、

瀧廉太郎に焦点をあてた。

司会：藤田真頼（昭和音楽大学准教授）

講師：塚原康子（東京藝術大学教授）

お話：酒巻和子（昭和音楽大学短期大学部教授・音楽科長）

演奏：花岡萌実（ヴァイオリン／研究員） 上路実早生（ピアノ／研究員）

第1部 レクチャー「幸田延・瀧廉太郎とその時代」（塚原康子）

第2部 トーク&演奏「幸田延と瀧廉太郎の音楽」

演奏 瀧廉太郎作曲 「憾」

幸田延作曲 ヴァイオリン・ソナタ変ホ長調

会場：南校舎 C511 入場者：85 名

## 《附属音楽・バレエ教室》

幼児（2歳）から中高年層まで幅広い年齢層を対象として音楽・バレエ教室を開設している。

教室は新百合ヶ丘校（大学内）、小田原校、センター北校（平成30年4月1日に横浜市営地下鉄「センター北」駅直結の「ショッピングタウンあいたい」5階へ港北ニュータウン校を移転）、多摩ニュータウン校、本厚木校、藤沢校、戸塚校、仙台校、武蔵小杉校（平成30年4月1日に東急「武蔵小杉」駅から徒歩5分、JR「武蔵小杉」駅北口から徒歩4分の場所に新設。）の9校で展開。約3,400名が在籍している。音楽の各分野では幼児音楽教育、ソルフェージュ、選科（ピアノ、弦・管・打楽器、声楽、作曲）、大人の音楽レッスン（選科と同科目）、忙しい方のための音楽レッスン（選科と同科目）、ポピュラー音楽、グループヴォーカル、ウェイクアップヴォーカル、ヴォーカルトレーニング、ジャズヴォーカル、カンツォーネ、シャンソン、青春のポップスコラス、童謡を歌おう、楽しくオペラを歌おう、文化箏、二胡等のコース、並びに舞台芸術の分野ではバレエ、ミュージカル、ジャズダンス、キッズダンス、朗読サロンコース、また教養講座としてイタリア語コースがある他、平成28年10月には新コースとしてダンシング・フラコースを開設するなど、生涯教育の普及活動を通じて地域に貢献している。

## 《附属ピアノアートアカデミー》

ピアノアートアカデミーは、音楽家を志す人の技術や表現力の向上のみならず、各々の個性がさらに輝き、ステージに生かされるための人間性を養うことにも重点を置き、真に魅力あふれる音楽家の育成を目的として開設された。現在小学生から本学の卒業生まで、幅広い年齢層の人たちが各地から通っており、在籍生は同じ目標を持つ人同士、和気あいあいとした雰囲気の中で交流を深め、お互いに刺激しあいながら日々学んでいる。

その成果として、これまでに多くの在籍者が数々の国内外のコンクール優勝、入賞を果たしている。2011年のリスト生誕200年に行われたリスト国際ピアノコンクールで優勝した後藤正孝、2013年パデレフスキ国際ピアノコンクール第3位の加藤大樹を輩出し国内外からの注目を集めた。

在籍生は演奏活動として、ユリホール、紀尾井ホール、白寿ホール等でのリサイタル、NHK交響楽団、東京交響楽団、読売日本交響楽団、東京シティー・フィルハーモニック管弦楽団、東京ニューシティー管弦楽団等との共演が挙げられる。このような活動に対して川崎市アゼリア輝賞、川崎市音楽特別賞、千葉県芸術文化新人賞、愛知県芸術文化選奨文化新人賞等を受賞。

### ○附属ピアノアートアカデミーの活動

- ・ピアノアートアカデミーコンサート：日本を代表する音楽家をゲストに迎え、デュオ、室内楽などを取り入れたコンサートを開いており、演奏会全体の流れを考えた選曲で総合的な場での表現を経験する。
- ・プレビューアカデミー：毎年12月に小学校2年生～高校2年生を対象に開催。ピアノの個人レッスンに加え、参加者全員で学ぶワークショップ、そして成果発表の場として学内のユリホールでのコンサートを実施。毎年全国各地から受講者、聴講者が来場する。
- ・ピアノ総合コース：月1回の特別レッスンを実施するコース。小学2年生～高校3年生を対象にピアノ個人レッスン、ソルフェージュレッスン、アンサンブルのためのピアノレッスンのほか、成果発表会なども開催。
- ・ミライの音楽ワークショップ：コンピュータを用いたデジタル音楽の創作・表現を中心とする、現代的な音楽の才能を秘めた若者を発掘し、今後の音楽業界を牽引していくような人材を育成することを理念として新たに始動したプロジェクト。
- ・スキアボンにおけるマスタークラス：附属ピアノアートアカデミーの在籍者やヨーロッパに留学している学生を対象としてマスタークラスを開催している。
- ・特別クラス：レッスン、アンサンブル、ソルフェージュ、キャリア形成の支援。